

イネ

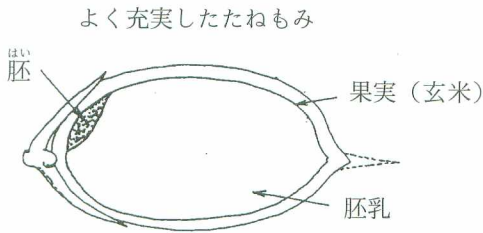
	5月	6月	7月	8月	9月
普通栽培 (キヌヒカリ)	○ 種まき	◎ 田植え	中干し	出穂	刈取り

☆米の品種

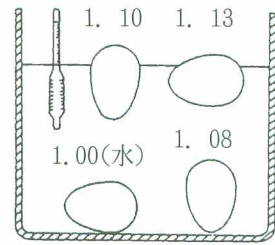
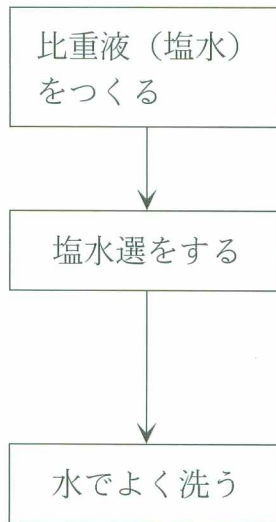
和歌山県で作られている米の代表的な品種として「キヌヒカリ」、「日本晴」、「コシヒカリ」等があります。

たねの準備

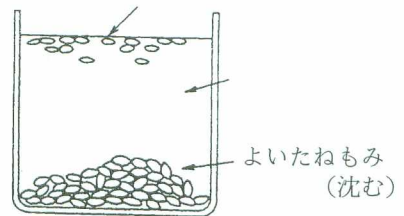
- ①良い種もみ（下図）を、本田10a当たり4kg位用意します。
- ②塩水選を行い、重い種もみだけを選びます。
比重液は、1.13を目安にします。



塩水選のしかた

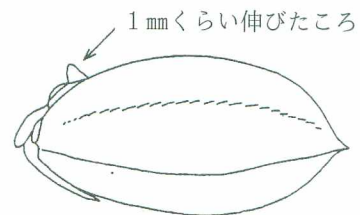


わるいたねもみ（浮く）



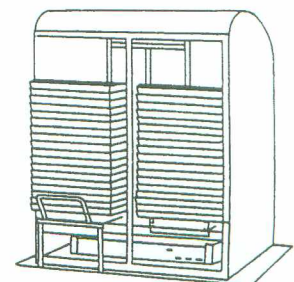
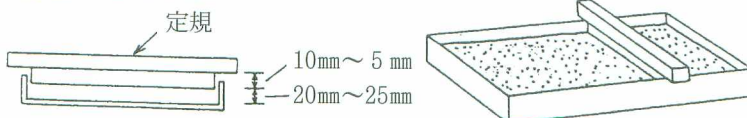
よいたねもみ（沈む）

- ③種もみを水につけておくと、水分を吸って4～6日で芽が出ます（右図）。
水は毎日かえます。

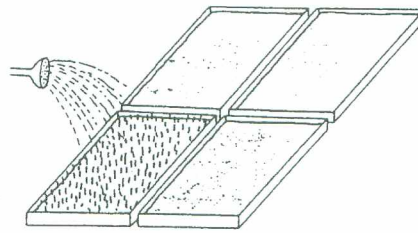


苗づくり

- ①育苗箱を本田10a当たり20箱用意します。
- ②下図のように箱の中に土を均等な高さに入れてから、種を1箱当たり180g程まんべんなくまき、種が見えない程度に土をかぶせます。
- ③種をまいた箱を育苗器（右図）に入れ芽を出させます。
- ④芽が1cm位まで伸びると、2～3日日陰に入れて、芽を徐々に緑色にします。

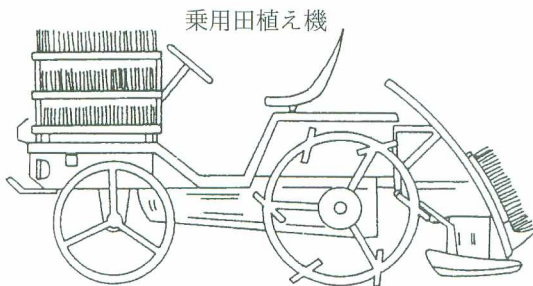


⑤その後は外に出し土が乾かないように水をやり、右図のような大きさまで育つと田植えです。



田植え

- ①田植えは普通6月上中旬頃にしますが、紀南地方はもっと早く行います。
- ②田植えまで田に肥料をまき、水を張り、代かきをします。
- ③下図のような田植機で植える場合は1㎡当たり20株、1株当り3～5本位に調節します。
- ④手植えの場合は下図のようにし、同じくらい植えます。



やさしい園芸セミナー
図解 作物 鹿野田司郎ほか4名 農業図書株式会社

生育と水管理

水はイネに水分を供給する他に、養分の運搬等の役割があります。水の管理は下図のようにします。

6月	7月	8月	9月
田植え	茎が増加	穂の出来始め	穂の熟す時期
		出穂	収穫
浅水	中干し	深水	間断かんがい
2～4 cm	田を乾かし かたくする	出穂の頃 水は多め	2～3日おきに 水を入れる
			落水
			水を出し 田を乾かす

稲刈り

穂が出てから35日～45日位で、穂の下の方に少し緑が残っている頃が刈り取りの時期です。

